

第5学年学習活動案

中嶋 信子

1. 単元名 森林のおくりもの (東京書籍)

2. 子どもの姿

4月から、「毎日10分間は読書をしよう」と子どもたちに投げかけている。朝の読書の時間も何を読むかきちんと事前に決めておくようにしている。また、読んだ本をおすすめの本としてみんなに紹介するというので、書名と作者名を掲示している。司書の協力もあり、毎日の読んだ記録をつけている。子どもたちはこの毎日読むという活動に意欲的に取り組み、読書をするということを楽しみにしている。

国語の教材「五月になれば」では、主人公大樹の川に対する気持ちを想像豊かに読み取っていた。また、両親に大樹が気持ちを伝える場面を大樹になりきって創作するなど、行間に自分の思いを入れながら読み、それを自分の言葉で表すこともできていた。

書いたり、読み取ったりすることができてはいるのだが、手を挙げて自分の意見を言うのは自信がないという子どもがいる。また、中には意味を読みとるのがやっとで、想像する文を二三行書くのがやっとという子どもがいるのも事実で、そういう子に対しては、文章が正しく読めることをねらいたい。

3. 教師の願い

「森林のおくりもの」は、他社(東京書籍)の教科書の教材である。なぜ、この教材を、そしてこの時期に取り上げたかということ、これまでに、子どもたちは4年生の時に、環境を大切にしようということで、校内の紙の無駄をなくそうという活動をしている。また、7月には、グリーンスクールで君津亀山という森林に囲まれた場所への宿泊が予定されている。この教材は、社会で学習した米作りとも関わっているため、関連づけながらの学習も可能になる。今の子どもたちの学習経験やこれからの体験を考えると、この教材は、まさに今ここで取り上げるのには最適であると考え。さらには、この教材を通して、今までの資源を大切にという見方から、地球規模の環境へ目を向けることにもなると思う。

この教材は、富山和子氏の「森は生きている」がもとになっているので、「森は生きている」の本に興味を持つようにさせたいと思う。一人一冊は、手にできるようにし、いつでも読みたい時に、手元にあるようにしたい。原作を読むことによって、教科書の読みが深まる経験を持たせたい。

4. 読みの力をつけるための具体的な手だて

ただ、書かれていることをうのみにするのではなく、書いてあることから、想像を働かせたり、本当にそうなのかなあと考えたり、どうしてなのかなあと考えたり、自分に返して読むことを子どもたちにはさせたいと思っている。

その手だてとして、初発の感想交流で、自分なりの想像をふくらませていたり、疑問を持ったりしている児童のものを深い読み方をしている例として取り上げ、疑問を持ちながら読むということは大切だということに気づかせたい。そして、一人一人が教科書から、どんな疑問を持ち、それを調べているのかわかるよう、疑問カードを掲示しておく。そのことが刺激になり、調べようという意欲にもつながると思う。

教材の原作「森は生きている」を全員の児童が手にし、読みたい時に自分のペースで読めるようにす

る。共通の本を手にするによって、読みを共有化させる。そのことによって、友だちの読みの鋭さや深さに気づき、お互いの読みのよさを感じさせたいと思う。

森林に関する他の本については、もっと詳しく知りたいという児童が、どんどん手にできるよう、ネットワークを通じて集めておく。そして常に手にとれる状況を作る。また、環境について、調べたいことが広がっていく場合は、情報集めをさせ、夏休みの自由研究として、集めた情報をもとにまとめさせるようにする。

今回の森林のおくりものを学習したまとめとしては、わかったことをパンフレットの形にしてまとめる。そして、そのまとめたものを校内の環境問題に取り組んでいる4年生に伝えたいと思う。

5. 単元の目標

- ・森林のおくりものについて興味を持ち、もっと詳しく知りたいという気持ちを持って学習に取り組む。(関心・意欲・態度)
- ・森林のおくりものについて、出てきた疑問は、教材だけでなく、他の本でも調べる。(読むこと)
- ・わかったことを表現を工夫して自分の方法でまとめることができる。(書くこと)
- ・発表する際、調べてわかったところを聞き手に対してわかりやすく伝えることができる。(話すこと・聞くこと)

6. 単元の評価規準

評価観点	評価規準	評価方法	
		十分満足	努力を要する子どもへの手だて
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・「森林のおくりもの」を進んで読む。 ・疑問を持ち、他の本を用いて調べようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・疑問を持ちながら読むことができ、その疑問を調べようとする。 ・知りたいことを目次などを見ながら調べようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大切なポイントになる箇所を質問することによって、疑問を持つようにする。 ・疑問を明確にし、それがのっていそうな本のアドバイスをする。
読む	<ul style="list-style-type: none"> ・木のくらし、木の使われ方、木の特徴、紙や火、水や土のおくりものについて意味を正しくつかむ。 ・「森は生きている」を読み、さらに詳しく意味を読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の言おうとしていることを小見出しでまとめながら「ここには、こういうことが書かれている」という読み方ができる。 ・詳しくわかったことを本文に書き込んでいくことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「森は生きている」の目次を参考にして、読み直すようアドバイスをする。 ・教科書と照らし合わせながら、「森は生きている」の関係のあるところを読むようアドバイスする。
書く	<ul style="list-style-type: none"> ・わかったことを工夫してパンフレットに表すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どんな表し方をすれば、よくわかるか考えて書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見出しを先に考えるようアドバイスする。
聞く・話す	<ul style="list-style-type: none"> ・4年生にまとめたことを発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・わりやすく説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クイズの形で、説明することができる。

7. 活動計画 (国語16時間扱い・総合3時間扱い)

時配	活動内容	支援と評価
<p>1</p> <p>1.5</p> <p>1</p>	<p>○「森林のおくりもの」を読もう。 初発の感想を書こう！</p> <p>○感想の交流をしよう。 ・森林って大切だということがわかった。 ・いろいろなものが作られている。 ・ないと生きられない。 ・木にもいろいろな種類がある。……</p> <p>○感想の中で、疑問を書いている子のものを取り上げる。一人一人書かれていることをしっかり読み取るためにも、はっきりしないことは調べるようにする。</p> <p>○調べる課題を確認する。 全体の課題となるもの、個人の課題となるものを明確にする。</p> <p>クラスの課題</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">森林のおくりものって何だろう</div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">富山さんの言いたいことを読み取ろう。</div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">森林の大切なことをパンフレットにまとめて4年生に伝えよう。</div>	<p>司書が「森林のおくりもの」を読む。 その後、富山和子著「森は生きている」を紹介する。 以下の感想を柱に取り上げたい。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・森林にはすごい役目がある。 ・木材を使ってできているものは？ ・木ができるまでにどれくらいかかるのか？ ・森林は大切にしないといけない。 ・木の種類によって使われ方が違う。 ・川の水がなくならないのは？ ・土がなくならないのは？ ・米作りと森林はつながっている。 ・4年生に森林の大切さを教えてあげたい。 </div> <p>・説明文では、「どうしてだろう。」と書かれていることについて、考えながら読むことが大切だということを通話し、感想交流の後、確かめたり、調べたりしたいことをカードに書く時間を持つ。</p> <p>・教科書のどこの部分が疑問になっているのか、教科書に線を引くと同時に付箋をはっておく。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;"> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の調べたい課題を持っているか。 ・教科書とつながっているか。 <p>関心・意欲・態度</p> </div>
<p>5</p>	<p>○調べる。 ・三分の二が森林って本当なのだろうか。 ・ヨーロッパよりも、森林は多いのだろうか。 ・どうして日本は木で作られた物が多いのだろうか。 ・木で作られているものには、他にどんなものがあるのだろうか。 ・木の選いによって、性質が違うことについて ・木が一本育つには、何年かかるか。 ・川の水がなくならない駅について、詳しく調べたい。 ・土砂崩れと森林の関係について調べたい。</p>	<p>・朝の読書の時間に、「森は生きている」を読む。国語の時間は、各自、課題に合った本を手にし、調べるようにする。 ・本は廊下に置いてき、いつでも見られるようにしておく。 森林の本、環境の本、木の道具、ヨーロッパの暮らし、木の種類と育ち方、川、土、被米作りなど教材と関わる本を司書にネットワークを通じて用意してもらおう。 ・どの資料から書き抜いたものかわかるように、書名も書く。調べ用のプリントを配布する。</p>

- ・田んぼと森林の関係について調べたい。
- ・砂漠化について調べたい。
- ・温暖化について調べたい。

暮らしと自然の関わりについて

- 日本人は暮らしの中に、どんな形で木をとり
いれていたのでしょうか。
 - ・大昔から木の家に住み、木の道具を使ったとあ
る。
 - ・木のはし、おわん、おぼん、ご飯しゃもじ、おたま
じゃくし、ふるおけ、まくら木も木だった。
 - ・今はふるおけというより洗面器だ。
 - ・昔は木で作られているものが多い。
 - ・でもプラスチックが増えてきている。
 - ・木の方が高い。
 - ・木も輸入されている。
 - 大昔というのは、いつ頃からなのでしょう。
 - ・一万年前。
 - ・機織りの道具、火起こしも木だった。
 - どうして、日本は木の暮らしをしているのでし
ょう。
 - ・日本は、国土の三分の二が森林。
 - ・オランダやイギリスは、国土の一割が森林。
- 木によって、どのようなちがいがあるのでし
ょう。
 - どうして木はなくならいのでしょうか。
 - ・スギが多いから花粉症が多い？
 - ・家を建てるのに使われる材木は
 - ・中村さんが、作ってくれるものはどんな木で作
られているのかな。
- 木が活着しているとはどういうことでしょう。
 - ・こきゅうをしているって書いてあるけれど…
 - ・樹齢二千年っていつ頃植えられた木かという
と
 - ・千年生きるというけれど、千年前は
- 紙や火はどうして、森林のおくりものなので
しょう。

- ・資料から必要な部分を抜き書きするこ
とができる。
- ・自分の思ったことも書き入れる。

読む

- ・ヨーロッパに比べて木が使われることが
多いのは、どうしてかを調べた子の意見を
取り入れる。

国土の何割が森林？

日本の湿気 地震 川が多い

- ・なぜ木を用いた道具が多いのかを資料
から読み取ったことを教科書の文章に
結びつけることができる。 読む

- ・自分の調べたことを実物や資料をもと
に説明することができる。 話す

- ・大昔の暮らし、国土について、調べた子を
指名する。

- ・木の種類を実際に実物を手にし、調べてき
た子がいたら、それをみんなに発表させ
る。

- ・活着しているとはどういうことかを読み
取ることができる。 読む

- ・4年生の時に学習したことを関連させて
発表する。 意欲・関心・態度

	<ul style="list-style-type: none"> ・紙のリサイクルをしたけれど、1本の木からできる紙はどれだけかという ・1年間に人は、紙を～使っている。木に直すと～本だ。 	
2	<p>○別のおくりものとはどういうことでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ふところ深く雨を受け入れるとというのは、 ●木があると木が水をすってたくわえていることになる。だから少しずつというのだろう。 ●水だけではなく、土や石もしっかりつかまえている。 ●おくりものという言い方が変わってきていますね。 ・森林のおかげ ・森林のお世話 	<p>・森林の働きについて調べたことを教科書と関連させて発表する。話す</p> <p>・次時の時間の伏線になるので、取り上げておく。</p>
1 (本時)	<p>○筆者の言いたいことは何でしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林のお世話になり続けてきたところから、森林の大切さに気づいてほしい。 ・だれのおくりものというようにだれのということから、先祖達への感謝の気持ちを持ってほしいということかな。 ・砂漠化の問題が地球上ではある。そういう所は、どんどん木を切ってしまう。 ・木が育つには、時間がかかるから、未来の人たちのことを考えておかなければならない。 	<p>・教科書から筆者の思いを読み取る。 読む。</p>
次の時間 に 0.5	<ul style="list-style-type: none"> ●筆者の言いたいことを考えると共に、自分の考えをまとめる。 森林のおくりものという言葉を用いて、考えをまとめる。 	
総合3	<p>○森林を守ることの大切さをパンフレットにして4年生に伝えよう。</p>	<p>・森林のおくりものという言葉を使い、自分の考えを端的にまとめる。書く</p> <p>・4年生に伝えたいことを見出しを工夫し、まとめる。書く</p>

8. 本時の活動

(1) 目標

- 筆者の考えを原作からも読み取ろうとする。(意欲・興味・関心)
- 自分たちに訴えたいことを読み取ることができる。(読み)
- 自分の森林に対する考えをまとめることができる。(書く)

(2) 展開(16/19)

時配	活動内容	支援と評価
3	1. 本時の学習内容を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">富山さんの言いたいことを読み取りましょう。</div> <ul style="list-style-type: none"> • 森林のおかげ • 森林のお世話になり続けてきたということから、森林のすごさを言いたいと思う。 • すごさだけではなく、お世話だから感謝しなさいということも含まれていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> • 前時で学習した 森林のおくりものが 大森林のおかげ 森林のおかげ 守ってくれている 森林のお世話になり続けてきた という言葉で表現されているということ
7	2. 富山さんの言いたいことが書かれているところに線を引く。 森林のお世話になり続けてきた 森林はだれのおくりもの 先祖たちが植えついで、現代のわたしたちにおくってくれたかけがえのない遺産 今も、山村の人たちは、木材を生産しながら山々を守っている。 風や砂と戦いながら 砂漠が広がっている。おびただしい人たちがうえ、死んでいる。 緑豊かな国土に生まれたことを感謝しなければなりません。 森林を育てる仕事のすばらしさ、とうとさを考えなければならない。	<ul style="list-style-type: none"> を掲示しておく。 • 森林への思いが表れている言葉を見つけることができると共に、そのわけも書ける。 読む・書く
10	3. 富山さんの一番言いたいと思う所をノートに書き、そのわけも書く。	<ul style="list-style-type: none"> • 一つ丁寧に選ぶということを通して、言葉を吟味させると共に、一つについてじっくり自分の考えも書けるようにする。
20	4. 発表し、意見を交流する。 <ul style="list-style-type: none"> • だれのおくりものというところから、森林を守って来た人がいるんだよ。ということが伝わってくる。 • 先祖たちが植えついでというところから、ずっとつながっているから森林が残っているんだということがわかる。 • かけがえのないというのは、かわりがないとい 	<ul style="list-style-type: none"> • 今まで学習してまとめてきた以下のことが生きるようにする。 • 木のくらしを築く • 木の特徴を生かす • 生活に生かす • 長生きである • 紙 • 火の起こり

うことだからとっても大切ということ、命と同じくらいという気持ち。

・今もというところから、続いている、続けていくことが大切ということが言いたい。

・守らないと、砂漠のようになるということをお願いなのではないか。

・アフリカなどでは、緑の木を植える運動をしている。

・森林を育てる仕事のすばらしさ、とうとさを考えなければならぬということから、森林に目を向けなさいとお願いなのではないか。

・森林を大切にしないと、やがて地球は滅びるということもお願いなのではないだろうか。

5 5. 友だちと意見を交流した感想をいう。

・川の水と森林

・土と森林

・米と森林

・今まで調べたことと、筆者の考え、自分の考えを入れながら発表することができる。話す

・友だちの意見の良いところに気付かせる共に、お互いに自信を持たせる。